

長野県

# 南信州の日本一!!

# No.1

すごいぞ  
南信州!



南信州  
みんなの  
“日本一”  
発掘プロジェクト

## 長野県の最南端「南信州」

当プロジェクトでの「南信州」とは、日本の真ん中に位置し、長野県の最南端、飯田市と下伊那郡の14市町村の地域を言います。



実はこれも  
日本一!

下伊那郡の  
横成町村は  
「13」で全国最多!!



## 南信州みんなの日本一発掘プロジェクトとは?

### 「南信州には日本一が溢れてる!」

将来のリニア中央新幹線開通を見据え、沿線となる南信州(飯田・下伊那地域)の魅力幅広く発信していくプロジェクトです。地域内外の皆さんと一緒に南信州の“宝物”を発掘し、強い発信力を持つよう「日本一」という軸を意識して“宝物”の発信を行います。

#### ●プロジェクト経緯

2023年8月～

南信州の“宝物”を発掘

地域の内外から「日本一」を軸に、皆さんが考える南信州の“宝物”を募集。約150件の応募が集まりました。(この冊子の裏表紙を参照)

2023年11月

発信するテーマを選定

応募された“宝物”について、専門の方々による検討会議を実施。地域の内外に魅力として発信していく「日本一5テーマ」を選定。

2023年11月～

魅力的なストーリーを付与

地域内外のライターが選定された「日本一5テーマ」について、それぞれの視点から根拠や背景について深堀取材を実施。魅力的な「南信州日本一ストーリー」に。

2024年2月～

「日本一ストーリー」を広く発信

「南信州日本一ストーリー」をさまざまな方法で地域の内外に広く発信を開始。

この冊子では5つのテーマの「南信州日本一ストーリー」をそれぞれご紹介します。この冊子を通じて、あなたの南信州の“宝物”を見つけてください。

## CONTENTS 南信州日本一 5テーマ

店舗数 日本一 焼肉文化 P1-2 →

食の宝庫 日本一 南信州の  
おいしいもの P3-4 →

美しさ 日本一 星空日本一への  
道のり P5-6 →

圧倒的 日本一 いい大人形劇フェスタ  
と伝統芸能 P7-8 →

軟らかさ 日本一 南信州の“水” P9-10 →

# 人が集えば焼肉! 南信州に根づく焼肉文化



## これが日本一! 焼肉店舗数 日本一の飯田市

飯田市は「日本一の焼肉の街」。全国の約800の市のなかで、人口1万人当たりの焼肉店舗数(焼肉店・ホルモン焼店)が全国1位を誇るのが飯田市です(南信州畜産物ブランド推進協議会 2021年1月末時点)。

飯田市だけでなく南信州全域に焼肉を食べる文化が根づいています。同上の調査はタウンページに「焼肉店またはホルモン焼店」と登録されている店舗数になっていて、焼肉を食べられる食堂や居酒屋は含まれていません。実際は60軒以上で焼肉を提供していると予想されます。

●人口1万人当たりの焼肉店数

1位 飯田市	5.26軒(人口100,702人、焼肉店53軒)
2位 石垣市(沖縄県)	5.02軒(人口49,824人、焼肉店25軒)
3位 北見市(北海道)	4.80軒(人口116,630人、焼肉店56軒)
4位 滝川市(北海道)	4.01軒(人口39,861人、焼肉店16軒)
5位 宿毛市(高知県)	3.96軒(人口20,211人、焼肉店8軒)

※焼肉店舗数:タウンページより 2021年1月末日時点  
人口:住民基本台帳人口より 2020年1月1日時点

## 市民有志で始めた 「焼肉ロックフェス」



2015(平成27)年から続く「焼肉ロックフェス」は、飯田市が「焼肉日本一」となったことで生まれたイベントです。地元の若手経営者有志が、野外ロックフェスと飯田の「手ぶら焼肉」をセットにして交流人口を増やそうと発案。今では全国から人が集まるロックフェスに成長しました。例年、自然豊かな野底山森林公園(飯田市上郷)を会場に、2日間開催されます。

- 「日本一を活かしたそのほかの取り組み」
- イチローのものまねでおなじみのニッチロー(飯田市出身)に焼肉大使(飯田市産業親善大使)を委嘱。(2018年6月21日～)
- 「飯田焼肉の日」を制定。(飯田下伊那食肉組合<現・南信州食肉組合>とマルマン株式会社が「飯(11)田焼肉(29)」のゴロ合わせから2020年11月29日に制定、日本記念日協会認定)
- 世界記録「11.29mの世界で最も長い鉄板で焼肉」を達成。(2021年11月29日にギネス世界記録認定)
- 焼肉文化を紹介・発信する拠点「飯田焼肉研究所」がオープン。(2022年11月29日 信州セキュアフーズ株式会社)

# Road to 日本一

## 市民は知っていた?! 飯田市の焼肉日本一は、北海道から伝わった!

2012(平成24)年1月3日の北海道新聞に「焼き肉北見式」という北海道北見市の焼肉文化を紹介する記事が掲載されました。記事内に掲載されていたのが「全国10万人以上の都市(東京の特別区除く)で焼肉・ホルモン店が多いトップテン」という表です。

北見市に隣接する美幌町の職員がSNSに「北見市が堂々の2位。嬉(うれ)しい」などと記事の内容を投稿。飯田市の職員幾島章さんがその投稿を読んだのが、飯田市の焼肉日本一のスタートでした。当時、幾島さんと美幌町職員は共に「第23期全国地域リーダー養成塾」という研修に参加していました。

幾島さんは、当時所属していた産業経済部の社内掲示板に「飯田市の焼肉日本一」を投稿。その時は、「たしかに焼肉店多いよね～」といった程度の反響しかなかったと言います。その後、同研修を終えた幾島さんは、同5月に庁舎内で研修報告会を開催。余談として新聞記事の件を伝えると、同席していた農業課畜産担当者の目に留まりました。



いくしま あきら  
幾島 章さん



## 食べながら焼肉文化を研究!

飯田市職員や農協職員を中心とする有志の会「焼肉研究会」は、2012(平成24)年7月に発足しました。会員は実際に焼肉を味わいながら、焼肉店の特色を調査し、「焼肉の街」のPRの一助となることを目指して活動しています。2015(平成27)年には、「飯田焼肉ノ地図帖」(南信州畜産物ブランド推進協議会発行)を作成。焼肉が食べられる店67軒と、精肉店など飯田の焼肉文化を支えるお店計90店が掲載されています。

## Why? 日本一

南信州の焼肉は、店舗数だけでなく、内容にもいくつかの特徴があります。

まず一つめは、焼く肉の種類です。「マトン」や「ホルモン(黒モツ、カシラ)」は飯田焼肉の定番。「マトン」は、昭和初期～40年代まで飯田市山本地区を中心に広がった綿羊飼育が関係しているといわれています。昭和30年頃の全国的なジンギスカンブームに合わせて、羊肉を食べる文化が定着しました。「ホルモン」を食べるようになったのは、終戦前後に連れてこられた朝鮮人労働者の食文化の影響と、市内の屠畜場(とちくじょう)でホルモンやカシラといった畜産副産物が安価に手に入ったことが要因といわれています。

その後、昭和50年代初頭に始まった「出前焼肉※」によって大勢で「鉄板」を囲み焼肉を楽しむ文化が定着しました。

地域での集まりや慰労会・懇親会などが集まったら焼肉をするという「焼肉文化」そのものが、日本一の証しではないでしょうか。

## 南信州は焼肉文化もすごい!



南信州では、人が集まって野外で食事...といえど、大人も子どもも次々と「焼肉」だ



飯田焼肉の定番「黒モツ(中央)」と「マトン(手前)」

※出前焼肉は、南信州の精肉店特有のサービスです。お肉と一緒に、鉄板、コンロ、ガスボンベ、皿や箸、さらには野菜や焼きそばまで、焼肉に必要な道具・材料一式を届けてくれます。

information

**焼肉ロックフェス実行委員会**

飯田市鼎名古熊2417-1 (株式会社飯田マツブツ内)  
TEL 0265-21-1177

HP

**飯田市広報ブランド推進課**

飯田市大久保町2534  
TEL 0265-22-4511

HP

# 大地の恵み、先人の知恵が生み出す おいしいものいっぱいの南信州

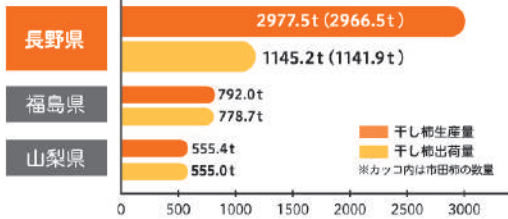
生産量  
日本一!

市  
田  
柿

## 餡色の果肉と きめ細かい白い粉 食べる人を魅了する市田柿

餡色の果肉と、きめの細かい白い粉が特徴の市田柿は、100年以上前から作られ続けている地域の特産品です。南信州と上伊那郡の一部のみで作られています。

長野県の干し柿生産量は日本一を誇ります。さらに、そのほとんどは市田柿が占めており、南信州は日本一の干し柿生産地といえます(令和3年度特産果樹生産動態等調査結果より)。



日本一の  
取り組み

### 現在の市田柿 ブランドを支える 優良母樹の選抜

市田柿は、高森町下市田にあった「伊勢社」境内の「神木焼柿の古木」が原木と伝えられています。江戸時代までは囲炉裏で焼いて洗を抜いて食べられていたことから「焼柿」と呼ばれていました。1921(大正10)年に「市田柿」の名前がつけられ、1965(昭和40)年にはこの地域で生産される干し柿のブランドが「市田柿」に統一されました。

その頃、市田柿の品質向上に向けて取り組まれたのが「優良系統の選抜」です。1966(昭和41)年から1968(昭和43)年にかけて上・下伊那から25系統が集められ、県農事試験場下伊那分場(現:長野県南信農業試験場)において、果実の重量、果形、糖度、果肉の色、食味など多岐にわたって調査が行われました。そして、翌1969(昭和44)年に松川町や豊丘村の5系統と同試験場の1系統が「優良系統(母樹)」に選抜されました。現在でも、これらの母樹による苗木が種苗業者によって販売され、地域で栽培されています。



県南信農業試験場内にある優良母樹に指定された市田柿。もうすぐ樹齢100年を迎えるという

全国の  
シェア  
約4割!

半  
生  
菓  
子



## Road to

### 「栗しぐれ」が大ヒット! 「ミックス商品」で全国展開へ

1957(昭和32)年に飯田市鼎の福澤製菓(現パティスリーポルカ)の福澤房雄さん(故人)が半生菓子「栗しぐれ」を考案したのが、日本一の生産地のきっかけでした。「栗しぐれ」は1960(昭和35)年に全国的に大ヒット。製造が追いつかなくなった福澤さんは製造法を公開し、地域全体で製造した時期もあったといいます。こうして現在の半生菓子産業の礎が築かれました。福澤さんは同業者と「栗しぐれ協会」を設立し、品質や包装デザインの統一にも取り組みました。

さらに南信州の半生菓子産業を発展させたのは、菓子問屋(戸田屋・外松など)が1970(昭和45)年頃に商品化した「半生菓子ミックス」の存在です。40社近くが菓子製造をする地域性を活かし、半生菓子のパラエティーミックス商品として企画されました。メーカーの異なる個包装の半生菓子が1袋にまとめられることで、さまざまな味が楽しめることと好評を博し、中部、関西、関東へと販売エリアは一気に拡大。現在でも全国で販売されています。

日本一へのストーリー

日本一



① 栗しぐれ  
発売当初の面影を残す「栗しぐれ」「ひねり」と呼ばれる包装も当時は手作業で、木箱に詰め、馬車で出荷したという



② ミックス商品  
半生菓子ミックスの商品。和風を軸に洋風を取り入れたり、季節感を出したりとさまざまなタイプが販売されている

## 戦後に発展をとげた 南信州の半生菓子産業

半生菓子とは、洋菓子・和菓子を問わず生菓子と干菓子の中で、水分量が10~30%以下のお菓子の総称です。具体的には、最中(もなか)、どら焼き、マシュマロ、カステラ、寒天ゼリーなどがあり、賞味期間が30~120日と長いのが特徴です。

2022年の半生菓子の全国の生産量は2万9324t、生産金額は325億円。菓子生産量全体では1~2%ほどしかありませんが、半生菓子の生産金額の約4割(120億円)を南信州地域が占めており、半生菓子は南信州に根づいた産業の一つといえます。



阿智村の香木屋本店栄松庵の菓頭をヒントに「栗しぐれ」を考案した福澤房雄さん(昭和50年頃に撮影)

## information

市田柿活性化推進協議会  
飯田市鼎東郷281  
(JAみなみ信州営農部果実棟課内)  
TEL 0265-52-6982

パティスリーポルカ  
飯田市鼎上山3129-2  
TEL 0265-52-1776



豊丘村役場  
豊丘村大字神福3120  
TEL 0265-35-3311



喬木村役場  
喬木村6664  
TEL 0265-33-2001



東西に中央・南の二つのアルプスがそびえ、南北に天竜川が流れる南信州。標高差、寒暖差がある地形を生かしてさまざまな大地の恵みが育てられてきました。ここでは、先人の知恵を活かして、生産量日本一を誇る市田柿や半生菓子、マツタケを紹介します。

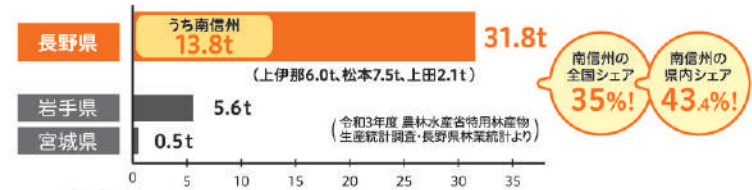
マ  
ツ  
タ  
ケ



## 南信州で 全国シェア3割強 里山の恵み、 マツタケ日本一

長野県は、2006(平成18)年から(2017年と2020年を除く。2023年は未確定)約20年にわたって日本一のマツタケ生産量を誇っています。中でも豊丘・喬木村を中心とした天竜川東岸が県内での一番の産地であり、その量は全国シェアの3割を超える年もあります。

2023年の長野県の実産量は1.6t(速報値)で「100年に一度の大凶作」と言われましたが、南信州は日本一のマツタケ産地といえるでしょう。



日本一の  
取り組み

### 松くい虫被害を地域で防ぐ 行政による伐倒燻蒸と空中散布

天竜川東岸は、アカマツやマツタケの生育に適した花崗岩質の土壌が広がっています。しかし、この地域でも1975(昭和50)年頃から松くい虫の被害が見られるようになってきました。松くい虫の被害は、マツノダダラカミキリに寄生するマツノザイセンチュウが松を枯らすことで広がります。県内の多くの市町村では枯れた松を処理する「伐倒燻蒸」の方法で松くい虫の被害に対処しています。豊丘村では、伐倒燻蒸だけでなく、2000(平成12)年から断続的に薬剤の空中散布を行ってきました。里山との間に薬剤による防除帯を作ることによって、標高の高い地域の被害を抑えられていると考えられています。

日本一の  
取り組み

### 積極的に山の手入れを 「育てるマツタケ」でブランド化を目指す

人工栽培ができないマツタケは天候の影響を受けやすく収量が安定しないことが長年の課題とされています。また、日常的に山の手入れが行われなくなったことで、生育環境の悪化も指摘されています。喬木村では、マツタケを出荷する有志が集まり「松茸研究会」を発足。ゴカキ、除間伐などの山作業を行い、マツタケ産地としてのブランド化、「天候に左右されるマツタケ」から「育てるマツタケ」への転換に向けて活動しています。



# 昼神温泉を盛り上げたい！ 阿智村・星空日本一への道のり

これが  
日本一！

## 星の観測に適した場所、 日本一！

環境省が1988(昭和63)年から2012(平成24)年まで毎年実施していた全国星空継続観測で、2006(平成18)年度夏季の「一般参加団体による写真撮影結果において夜空の明るさが星の観測に適していた場所」の1位に選ばれたのが、阿智村浪合のみみじ平天文村(現・銀河のみみじキャンプ場)です。全国416団体(439地点)が参加した中で、カラーライド写真や肉眼・双眼鏡を使って観測した結果、夜空の明るさが23.7等級と評価されました。同年度冬季の同じ観測でも、旧浪合村役場駐車場が全国4位(夜空の明るさ20.98等級)に選ばれています。なお、同観測は長野県外在住者で構成され浪合地区で活動していた「長野県天文普及会」を中心に実施されました。

「等級」とは「マグニチュードパー平方秒角」という聞きなれない単位ですが、数値が大きほど夜空が暗く、星が見えやすいことを表しています。19等級以上で天の川が見え始めるとされ、21等級以上では天の川の複雑な構造や星団を確認することができるとされています。

環境省の「冬の星空観測 デジタルカメラによる夜空の明るさ調査」によると、南信州の10市町村で20等級以上を記録(2021・22年)しており、南信州全体が星の観測適地といえるでしょう。



銀河のみみじキャンプ場(阿智村浪合)の星空



2019年「同時に天体観測を行った最多人数」、2021年「折り紙で作った星の最多展示数」でギネス世界記録を達成した(スタービレッジ阿智誘客促進協議会)



「日本一の星空」を維持するための活動として、環境に配慮した取り組みを行っています。

- 2019年より冬期開催のナイトツアーの会場で使用する電気を発電時に二酸化炭素を排出しない「CO2フリー電気」でまかっています。
- 2020年より継続的な大気測定を実施。美しい星空に影響を与えやすい微小粒子状物質、浮遊粒子状物質の量をはじめ、地球温暖化の原因となる二酸化炭素量なども測定しています。



1996(平成8)年にスキー場としてオープンした「富士見台高原ロープウェイヘブンスそのはら」。自然豊かな環境を活かして、冬のスキーだけでなく、グリーンシーズンのトレッキングや散策、そして星空ナイトツアーと年間を通じて観光客が訪れる



阿智村の認知度向上、ブランディングの一環として企業との連携も多い。写真は、2018(平成30)年の「サッポロ生ビール黒ラベル 日本一の星空デザイン缶」。星神温泉のペア宿泊券やナイトツアーのチケットが抽選で当たるキャンペーンが行われた

# Road to 日本一

## 星のエンターテインメントで 阿智村全体の活性化を

～観光業に携わる2人の  
ブランディングストーリー～



しらさわ ゆうじ  
白澤 裕次さん(右)  
プロフィール  
1964年阿智村生まれ。1996年「阿智総合開発(株)」(後のジェイ・マウンテンズ・セントラル(株))入社後、2010年代表取締役(現職)に就任。2012年スタービレッジ阿智誘客促進協議会副会長。2016年株式会社阿智星神観光局代表取締役。日本一の星空を基軸としたブランド戦略、地域づくりを手掛け、阿智村の観光や地域発展の一翼を担う。

まつした hitoshi  
松下 仁さん(左)  
プロフィール  
1977年飯田生まれ。2012年スタービレッジ阿智誘客促進協議会事務局長として、「天空の楽園 日本一の星空ナイトツアー」立ち上げ、企画立案・運営に携わる。現在は株式会社阿智星神観光局企画戦略部長として施設・イベントプロデュース、広告宣伝・PR、人材育成など幅広い分野で活躍。

阿智村の星神温泉が開湯し宿泊施設が開業したのは1975(昭和50)年です。中央自動車道を利用した中京圏からの観光客を中心に利用者は増加しましたが、2005(平成17)年の国際博覧会「愛・地球博」をピークに近年は利用者数の減少傾向がみられていました。中京圏では一定の評価を得ていた阿智村・星神温泉も、東京や大阪の都市圏での認知度は低いのが現実。「観光業を中心に地域全体の活性化が必要」と村民らが意識し始めた頃のことです。星神温泉で宿泊業に携わっていた松下仁さんと富士見台高原ロープウェイヘブンスそのはらを運営していた白澤裕次さんは、「地域に魅力があっても、知られていなければ観光客は訪れない」と、日本一の評価を得ていた星空を切り口にブランディング化を提案。

2012(平成24)年7月、2人を中心にスタービレッジ阿智誘客促進協議会が設立され、8月にはヘブンスそのはらを会場にした「天空の楽園 日本一の星空ナイトツアー」を始められました。

「美しい星空は日本各地にたくさんあります。私達は星空をエンターテインメントとして捉え、非日常の体験と共にワクワク感を演出しています。」(松下さん)。

2014(平成26)年には「スタービレッジ」「日本一の星空」などを商標登録。SNS広告の活用をはじめとするWEBプロモーションやマスコミへの情報配信、企業と連携したイベントの開催・オリジナル商品の開発、受賞制度へのエントリーなども「日本一の星空」のブランディングを後押ししてきました。

今では「阿智村・星神温泉・日本一の星空」といったキーワードの認知度が都市圏でアップし、集客数として効果が表れています。



山麓駅から山頂駅までゴンドラで約15分間の星空遊覧が、非日常の演出を盛り上げる

### information

ヘブンスそのはら

阿智村智里3731-4 TEL 0265-44-2311

HP



# 国内最大の人形劇の祭典 「いいだ人形劇フェスタ」



## 参加劇団の数は国内最多

飯田市で毎年8月上旬に開催される「いいだ人形劇フェスタ」は、全国・世界から数多くの団体が上演参加する日本最大の人形劇の祭典です。2023年は、4日間で222団体が上演参加しました。

プロもアマチュアも参加できること、公演会場が百数十カ所に分散し地域全体でイベントが盛り上がること、運営が市民のボランティアスタッフによって支えられていることなどが大きな特徴です。

いまや飯田は、全国の人形劇人(演じ手)たちから「人形劇の聖地」と呼ばれるほど特別な存在になっているのです。

## 劇人と市民が 交流する「お祭り」

いいだ人形劇フェスタの前身である「人形劇カーニバル飯田」が始まったのは1979(昭和54)年のこと。国際児童年だったこの年、飯田市から公演依頼を受けたプロ劇団が「全国の劇人と市民が交流する『お祭り』を飯田でやりませんか」と提案したのがきっかけでした。

ワッペンを購入すれば自由に観劇できる仕組みや、市内各地区の公民館による全面協力、地域住民との交流などが評判を呼び、参加劇団数は年々増加していきました。

1999(平成11)年に「いいだ人形劇フェスタ」へリニューアルしてからは、ワッペン制度を受け継ぎながらもプロや海外劇団による「有料公演」も増え、質の高い作品がより多く楽しめるようになりました。



1979年第1回人形劇カーニバル飯田

## 人形劇文化の原点 伊那谷の人形芝居



伊那谷では江戸時代から人形浄瑠璃が盛んでした。現在も受け継がれている黒田人形(飯田市上郷)・今田人形(同市龍江)・早稲田人形(阿南町)・古田人形(箕輪町)は「伊那谷四座」と呼ばれ、黒田・今田・早稲田は国の選択無形民俗文化財となっています。

黒田人形が行われる下黒田諏訪神社の舞台は、人形舞台としては初めて国の重要有形民俗文化財に指定されたものです。国指定を受けた人形舞台は全国に4件ありますが、建築年の古さでは下黒田の舞台が最も古く、大きさが最大級です。国指定になっていないものとしては1811(文化8)年に建てられた「津久田の人形舞台」(群馬県渋川市)がありますが、これは歌舞伎舞台も兼ねたものでした。



黒田人形(左)が上演される「下黒田の舞台」(上)

## ●全国主な人形舞台(重要有形民俗文化財)

名称	所在地	指定区分	指定年	建築年	間口(桁行)
下黒田の舞台	長野県飯田市	国指定	1974	1840(天保11)	13.39m
真桑の人形舞台	岐阜県本巣市	国指定	1975	明治初年頃	12.98m
犬飼の舞台	徳島県徳島市	国指定	1998	1873(明治6)	10m
坂州の舞台	徳島県那賀郡那賀町	国指定	1998	1898(明治31)	10.9m
津久田の人形舞台	群馬県渋川市	県指定	1983	1811(文化8)	9.09m

## Interview

### 劇人の目から見た飯田



人形芝居蒸屋 つかのき 久すのき さん

プロフィール  
1961年、東京都出身・松本市在住。NPO法人日本ウニマ(国際人形劇連盟日本センター)副会長。飯田の市民人形劇「人魚姫」の脚色・演出を担当。

### 「オールカマー」が最大の魅力

私が初めて飯田に参加したのは大学生時代、第3回(1981年)の「カーニバル」でした。以来毎年参加しています。飯田の魅力はプロもアマも自由に参加できること。たとえ実力不足でも優しく受け入れてもらえる感動と感謝が、飯田を特別なものにするんですよ。観客が多いので、プロも実験的な作品に挑戦しやすいです。

飯田のフェスタは日本一どこかアジア最大と言っていいでしょう。裾野の広い「オールカマー(なんでも来い)」の精神を、ずっと大切にしていきたいと思っています。

## ●全国主な人形劇イベント(2019年)

名称(開催地)	開催日数	上演劇団数
いいだ人形劇フェスタ(長野県飯田市)	6	241
池袋いけいけ人形劇まつり(東京都豊島区)	2	51
ひらかた人形劇フェスティバル(大阪府枚方市)	2	38
人形劇まつりin川崎市市民プラザ(神奈川県川崎市)	1	30
なにわ人形芝居フェスティバル(大阪市天王寺区)	1	27
とらまる人形劇カーニバル(香川県東かがわ市)	3	27
札幌人形劇祭(北海道札幌市)	2	26
いなさ人形劇まつり(静岡県浜松市)	2	24



新野の盆踊り(阿南町)

和合の念仏踊り(阿南町)



## 地芝居として初の国重文指定「大鹿歌舞伎」



大鹿村に250年以上前から伝わる大鹿歌舞伎は、2017(平成29)年に地芝居としては初めて国の重要無形民俗文化財に指定されました。現在も地芝居としては唯一の登録となっています。

大鹿歌舞伎(大鹿村)

## 夏秋は煙火の密度がハンパない?!

南信州では、夏から秋にかけて毎週・毎晩のように各地の神社で煙火(花火)が奉納されます。この地域で2022年度に自治体の許可を得た煙火大会の数は81件。これは県内の同人口規模(15~20万人程度)の地域の約2~4倍に上ります。打ち上げ花火だけでなく、火の粉を吹き上げる筒花火(大三国)やさまざまな仕掛け花火など種類も豊富。阿智村清内路では地元を中心とした若者たちによる手づくり煙火が現在も受け継がれています。



上清内路の手づくり煙火(阿智村)

## 民俗学者から見た南信州



国学院大学名誉教授  
おがわ なおたか  
小川 直之 さん

プロフィール  
1953年、神奈川県出身・在住。飯田市美術館館長、柳田泉男記念伊那民俗学研究所長。

## アンテナが高かった 南信州の人々

これほど多彩な民俗芸能が年間を通じて濃密に行われている地域は、私が知る限りは全国に3カ所、南信州と若狭(福井県)と湖東(滋賀県)だけ。南信州は日本の民俗芸能の縮図といえる場所なのです。

米を作れない山間地域の人たちは、常にアンテナを高く張って、都市が求める商品作物を生産し販売してきました。だから時代ごとに最新の芸能を取り入れる感性と経済力があつたのです。なぜそれが失われずに残ったのかは、地元の皆さんにこそ解明してほしい大きな謎ですが、従来言われてきたような「山奥で文化の吹き溜まりだったから」などという単純なものではないはず。 (2024年1月21日 「赤門スクール」講演より)

## 南信州は日本有数の 民俗芸能の宝庫

南信州には、人形芝居の他にも湯立神楽(ゆだてかぐら)、念仏踊り、地芝居(農村歌舞伎)、獅子舞、手作り煙火などたくさんの民俗芸能が伝承されています。文化財指定を受けたものだけでも、国指定重要無形民俗文化財6件、国選択無形民俗文化財4件、県指定無形民俗文化財4件、県選択無形民俗文化財1件のにのぼります。

このうち、阿南町の「和合の念仏踊り」と「新野の盆踊り」は、2022年にユネスコの世界無形文化遺産に登録された日本の「風流踊」41件に含まれます。小規模自治体で2件同時に登録された例は全国的にも珍しく、「民俗芸能の宝庫」としての南信州を改めて印象づけました。

## 見学が日本一つらい?! 「寒い」「眠い」「煙い」の祭り

飯田市の遠山霜月祭り(12月)、天龍村の霜月神楽(1月)、阿南町新野の雪祭り(同)などは、冬のさなかに夜を徹して行われます。境内の焚き火で暖を取ろうとすると煙でいぶされ、「寒い」「眠い」「煙い」の三拍子がそろった祭りといわれます。どの祭りも山間地で行われるので、現地へ行くには冬用タイヤが必須です。



新野の雪祭り(阿南町)

たとえば、雪祭りが行われる阿南町新野は標高約800mの高原にあり、1月の平均最低気温はマイナス6.8度に達します。雪祭りの主な行事は二つの神社を会場に1月13日未明から15日朝にかけて行われますが、見どころとなる面形の舞は屋外(伊豆神社境内)で夜を徹して繰り広げられます。

### 新野の雪祭りのおおまかなスケジュール(1月14~15日)

14日	15日
8:30-松明作り(伊豆神社)	1:00-松明点火・幸法
12:00-天火採り(諏訪神社)	2:30-鐘馬
16:00-お上り出発 (諏訪神社から伊豆神社へ)	7:00-天狗
17:00-神楽殿の徳(以下伊豆神社)	9:30-面仕舞い
21:00-大松明立て	
23:00-伽藍神の祭り	

## information

いいだ人形劇フェスタについては  
いいだ人形劇フェスタ実行委員会事務局  
(飯田文化会館内)  
TEL 0265-23-3552



南信州の伝統芸能については  
南信州民俗芸能継承推進協議会  
(事務局:南信州広域連合)  
TEL 0265-53-7100



# 南信州の水道水が “超”軟水である理由とは？



飯田市街と南アルプスを一望する砂払浄水場(飯田市)

## 市内最古 砂払浄水場の建設秘話

南信州で2番目の「軟らかさ」を誇る飯田市砂払浄水場は、1928(昭和3)年に建設された市内最古の浄水場です。飯田市街地や上郷・座光寺地区の一部に給水しており、その原水は大平地区の黒川(標高1208m、阿知川水系)から13.7kmの鑄鉄(ちゅうてつ)管で引き込んでいます。



レトロ感いっぱいの管理棟

城下町である飯田市街地は昔から水不足に悩まされていましたが、最寄りの松川は農村部の灌漑(かんがい)用水として重要だったため新たな利用が難しく、別の川から水を引いてくる必要がありました。黒川の水を引く事業は明治初期から試みられ、昭和に入ってからようやく完成をみたのでした。



黒川の取水堰堤



飯田市上下水道局では市民との懇談会で水道水を提供し、おいしさをアピールしている

## 硬度5mg/L以下の 浄水場が5カ所も

水の硬度は主要なミネラル分であるカルシウムとマグネシウムの含有量を表すもので、WHO(世界保健機関)の基準では60mg/L以下を軟水、120mg/L以上を硬水に分類しています。日本の水道水の平均硬度は48mg/Lの軟水です。

日本水道協会の統計によると、2021年の水道水(給水栓水等)の硬度は、阿智村清内路浄水場が2mg/L、同村もみじ平浄水場と飯田市砂払浄水場が3mg/Lとなっています。高森町や松川町にも4~5mg/Lの上水道があり、これほどの“超”軟水が集中している地域は全国的にも珍しいといえます。

### ●全国主な軟水系上水道(2021年、給水栓水等)

硬度	浄水場
1mg/L	深溝町晴山浄水場(青森県)/中津川市新田浄水場(岐阜県)
2mg/L	阿智村清内路浄水場(長野県)
3mg/L	飯田市砂払浄水場(長野県)/阿智村もみじ平浄水場(同)ほか
4mg/L	高森町堂所浄水場(長野県)ほか
5mg/L	松川町柄山浄水場(長野県)ほか

日本水道協会のデータベースより

## Interview

### 飯田の水を守る立場から



飯田市上下水道局  
水道課長  
やなぎさわしやうじ  
柳澤 正治さん

### おいしい水のために 維持・更新を進めます

砂払浄水場の硬度は2023年までの5年間の平均値が原水で3.0mg/L、給水栓で4.0mg/Lとなっています。かなりの軟水であることは承知していますが、全国順位までは意識したことがありませんでした。高所で取水しているために地質の影響を受けず、軟らかな水になるのでしょうか。一方で遠山地域などは硬度が高く、地域によって違いがあります。

市民意識調査では水道に満足しているとの回答が8割を占めていますし、飯田の水はおいしいとの声を県外の方からいただくこともあります。私自身、出張先で味の違いを実感することがあります。山奥の取水施設や長い導水管は災害の影響を受けやすく、管理に気は抜けません。老朽化した施設の更新もしっかりとやっていく必要もありますので、市民の皆さまのご理解をお願いいたします。

### 軟水と硬水の違い

一般的に、軟水はなめらかで口当たりがよく、だしや素材の味を生かした料理に向いているといわれます。肌や髪にも優しく、石鹸の泡立ちがよいのが特徴です。一方、硬水はキリッとした味わいがあり、コーヒーや肉料理に合うとされています。



急傾斜地に作られた下栗の船(飯田市上村)

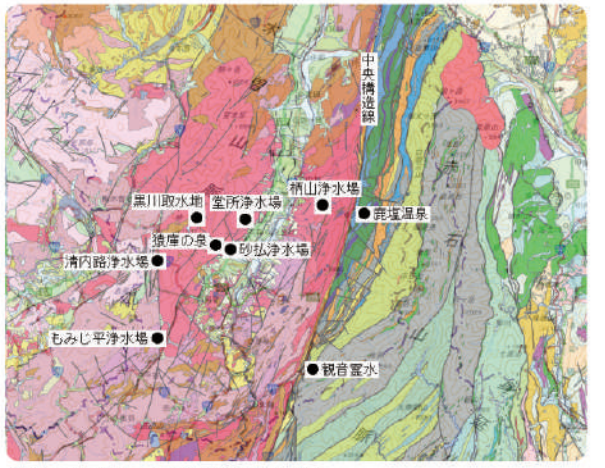


軟水が豊富な中央アルプス南部エリア

## 軟水を育む花崗岩帯と 急峻な地形

天然水が軟水になる条件は、花崗岩質の土地であること、水の流下距離が短いことの2点であるといわれています。伊那山地と木曾山脈(中央アルプス)の南部は領家変成帯(りょうけへんせい)と呼ばれる地質帯に含まれ、白亜紀に形成された花崗岩や花崗閃緑岩が主となっています。また斜度の大きな地形のため、山に降った雪や雨がミネラル成分を含むことなく上水道に取水されると考えられます。

一方、中央構造線の東側は三波川(さんぱがわ)変成帯と呼ばれる地質帯に含まれ、岩石の質が全く異なるため、水の硬度は比較的高くなる傾向にあります。2023年の飯田市遠山地区の水道水の平均硬度は62mg/Lでした。



伊那谷の地質図。赤・ピンク色が花崗岩質のエリア(地質図Navi <https://gbank.gsj.jp/geonavi/>の画像を加工)

## 水が教えてくれた 古代人のルーツ



群馬県の発掘情報館(渋川市)に展示されている古墳人のレプリカ

人間の永久歯には成長期に摂取した水や食べ物の影響が残るため、歯を分析することでその人物の出身地が推定できます。2012(平成24)年に群馬県の榛名山麓(渋川市金井)で発見された古墳時代の男女の歯を調べたところ、2人は白亜紀の花崗岩地帯で育った可能性が高いことがわかりました。古墳時代の伊那谷と榛名山麓はともに馬の飼育が盛んで、東山道沿いに位置していることから、2人は伊那谷から移住した可能性が高いと推測されています。

## 個性あふれる 南信州の水たち

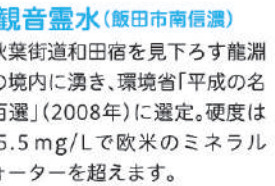
### ◆猿庫の泉(飯田市上飯田)

風越山麓の円悟沢(えんごさわ)に湧き、環境省「名水百選」(1985年)に選定。歴代の飯田城主が茶の湯に用いたといわれます。硬度14mg/Lの軟水。



### ◆観音霊水(飯田市南信濃)

秋葉街道和宿を見下ろす龍淵寺の境内に湧き、環境省「平成の名水百選」(2008年)に選定。硬度は225.5mg/Lで欧米のミネラルウォーターを超えます。



### ◆鹿塩温泉(大鹿村)

標高750mの山中にありながら塩分濃度は海水並み。建御名方命(たけみなかたのみこと)や弘法大師(空海)にちなむ開湯伝説もあり、煮詰めて作った山塩が特産品となっています。近年の研究で、フィリピン海プレートとともに日本列島の下に沈み込んだ水が地下深くから上がってきているらしいことが分かってきました。



鹿塩温泉の製塩所(山塩館)

### 伊那谷の環境に探る立場から



株式会社セラネットシステム  
代表取締役  
しまだしやうじ  
島田 洋治さん

プロフィール  
1954年、飯田市出身・在住。日本大学理工学部卒業後、主に建設コンサルタント企業に就任したのち環境ベンチャー企業として独立。飯田脱炭素社会推進協議会会長。

### Interview

### 飯田の水は 大きな可能性を秘めている

私はもともと地盤工学や植物生態学が専門で、地下水を研究する中で水の硬度に注目するようになりました。2013(平成25)年頃、日本人は軟水をおいしいと感じる傾向にあるとみて全国の市レベルの公共上水道の硬度を独自に集計したところ、飯田市が全国一の「超」軟水だと分かって驚きました。軟水はだしを取るのに適しており、和食文化の原点でもあります。飯田の水は電気伝導率が低く、不純物をほとんど含みません。健康面でも産業面でも、大きな可能性を秘めていると思います。

## こんな「水」の日本一も 高い全国シェアを持つ飯田水引



紙をより、水のりを引いて固める水引は、鮮やかな色彩と流れるような曲線の美しさが魅力です。江戸時代の飯田は元結が特産で、明治の新髪令以降は水引生産に転換。1980年代には関連製品の生産高が全国の7割を占めるまでになり、現在も高い水準を保っています。

### information

飯田市の上水道については  
飯田市役所上下水道局  
TEL 0265-22-4511



HP

# おらが地元の No.1

みなさんにご応募いただいた、  
南信州みんなの“日本一”!

## あなたが思う南信州の「宝物」

### 景色

- ◆ 南信州はとにかく空が青い
- ◆ 極楽峠パノラマパーク (展望公園)
- ◆ 高森南小学校 (日本一の学校桜)
- ◆ 平谷村の高嶺展望台からの景色
- ◆ よこね田んぼ
- ◆ 遠山郷
- ◆ 野田平キャンプ場
- ◆ 天龍村の農家の佇まい
- ◆ 河岸段丘が作った景色。特に秋の夕焼けの赤石山脈
- ◆ 南アルプスユネスコエコパーク

### 文化

- ◆ 幌田い式の大きな獅子舞
- ◆ 狛犬が多い
- ◆ 図書館が充実
- ◆ GLIM SPANKY
- ◆ 伝統工芸・喬木村の阿島傘
- ◆ 飯田お練りまつり
- ◆ ツアー・オブ・ジャパン(TOJ)

### 人物

- ◆ 代田稔医学博士
- ◆ 菱田春草
- ◆ 太宰春台
- ◆ 松尾多勢子
- ◆ 田中芳男
- ◆ 代田銀太郎

### 名所

- ◆ 大鹿村の逆さ銀杏
- ◆ 天龍村の羽衣崎
- ◆ 飯田市南信濃の旧木沢小学校
- ◆ 喬木村の棕鳩十記念館・記念図書館のねこ館長のムクニヤン
- ◆ 松川町の片桐ダム湖
- ◆ 高森町の不動滝
- ◆ 高森町の松岡城址
- ◆ 下條村の入登山神社
- ◆ 泰阜村の学校美術館
- ◆ 阿智村浪合の治部坂高原スキー場のコスモス
- ◆ 飯田城桜丸御門
- ◆ 元善光寺
- ◆ 松源寺
- ◆ 長岳寺
- ◆ 神坂神社
- ◆ 大鹿村の山塩
- ◆ ポットホール
- ◆ 月瀬の大杉
- ◆ 飯田市立動物園
- ◆ 名勝 天龍峡
- ◆ りんご並木
- ◆ 下栗の里
- ◆ 御池山隕石クレーター

### 言葉

- ◆ 南信州の「ほっこりする方言」

### 食べ物

- ◆ 根羽牛
- ◆ ラムしゃぶ
- ◆ 天ぶら饅頭
- ◆ 天龍村の中井侍茶(風景含め)
- ◆ 下伊那農業高校のお茶の栽培事業
- ◆ 阿智村 清内路、園原のみようが
- ◆ 信州の伝統野菜の品種の数28種 (全県では84種)
- ◆ 南信州菓子工房の国産果実の半生ドライフルーツ
- ◆ 売木村のヤギミルクのチーズとソフトクリーム
- ◆ ブランド豚
- ◆ 宮下製冰冷蔵の生シロップ
- ◆ 洋菓子
- ◆ 天龍村のゆべし
- ◆ 飯田下伊那のシードル
- ◆ 根羽村のネバーランドのソフトクリーム
- ◆ ジビエ肉
- ◆ 南信州シードル
- ◆ 五平餅
- ◆ おたぐり
- ◆ ねぎだれおでん
- ◆ 馬刺し
- ◆ ていざなす

### 鉄道

- ◆ JR飯田線秘境駅

たくさんのご応募ありがとうございました!

◆ 県内外から **150件** を超える応募がありました! ◆

それぞれの「想い」も寄せていただいたのですが、書ききれないため単語のみの表記をお許しください。